

中心街に必要な親子交流施設（「まちななかキッズルーム」）として定着！

宮崎商工会議所

機関名	宮崎商工会議所		
所在地	宮崎県宮崎市橘東1-8-11		
電話番号	0985-22-2161		
地域概要	(1)管内人口 308千人	(2)管内商店街数 21商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 4商店街	(2)会員数 225商店	
	(3)空店舗率 11.5%	(4)大型店空き店舗数 0	
	若草通り商店街他3商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度	コミュニティ施設活用事業（親子交流施設）
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供向け各種イベント事業「まちななかプレイパーク」の実施 ・一時託児事業「まちななかキッズルーム」の運営
総事業費	10,880千円

【事業実施内容】

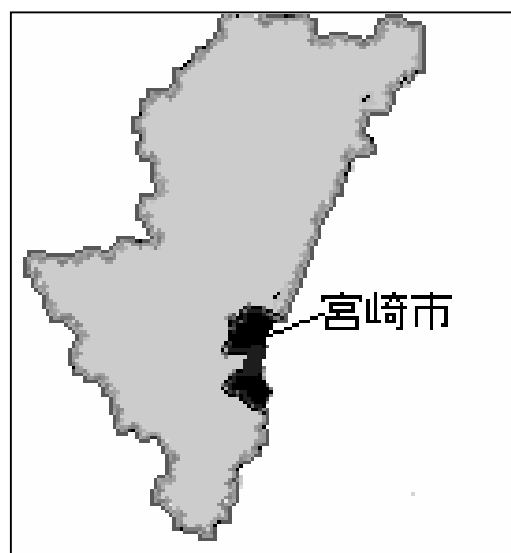
1. 背景

宮崎市は九州の東南部太平洋岸に位置し、年間平均気温18.2度と温暖な気候に恵まれ、国定公園日南海岸に続く「宮崎・日南海岸リゾート構想」は、昭和63年にリゾート法の第一号の承認を受け観光振興に力を入れてきた。

毎年、県内外から多くの観光客が訪れていたが、不況の影響からか平成11年に約687万人であった観光入込み数が、平成15年には471万人にまで減少してしまった。

宮崎市の中心市街地は、県都として県内全域から訪れる多くの買い物客で賑わっていたが、郊外への大型店出店等により空洞化が進み、空き店舗が目立ってきた。

平成10年12月に中心市街地活性化基本計画を策定した。以降、中心市街地の賑わい再生、そして来街者の利便性向上、地域コミュニティの形成を図るため、数多くの事業を実施してきた。



宮崎市の位置（宮崎市HPより加工）

これら事業のうち、経済産業省の商店街等活性化支援事業を活用し実施した事業は、以下のとおりである。

<空き店舗対策事業、活性化対策事業>

実施年度	事業名		
平成12年	チャレンジショップ事業	多機能カードシステム導入 (クレジット、デビット)	—
平成13年	チャレンジショップ事業	多機能カードシステム導入 (IC、ポイント)	まちなか情報拠点整備事業

<コミュニティ施設活用事業>

実施年度	事業名		
平成14年	まちなかプレイパーク	—	—
平成15年	まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム	コミュニティスペース 「gaga8(ガガエイト)」	レンタサイクル事業
平成16年	まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム	コミュニティスペース 「gaga8(ガガエイト)」	レンタサイクル事業

*以下、平成16年度実施の「まちなかプレイパーク、キッズルーム事業」について報告する。

2. 事業内容

事業内容としては、「まちなかプレイパーク」はNPO法人と連携して、中心市街地内で親子手作り教室、人形劇、大道芸、ミニコンサート等様々な子供関連のイベントを実施し街の賑わいづくりを行うというものである。平成14年度は、年間150回、参加者9,714人の実績であった。なかでも、大学生等を対象とした乳幼児保育の体験学習として1日だけ開催した「キッズルーム」は、子供連れの買い物客から高い評価を受けた。

そこで、平成15年に「まちなかプレイパーク」の一環として、「まちなかキッズルーム」を中心街の山形屋別館に設置し、運営をNPO法人みやざき子ども文化センターに委託した。一時預かりの利用者が多く非常に好評であったことから平成16年も継続させ、買い物客への利便性の向上、まちの賑わいの創出を図った。

(1) 事業実績

事業実施期間 平成16年4月1日～平成17年3月31日

①「まちなかプレイパーク」事業

まちなかキッズルーム及び中心市街地を活動拠点としている、NPO法人等の市民団体と連携して、各種イベント（10代のベビーシッター養成講座、キッズカフェ、人形劇、大道芸、子ども図書館、コンサート、親子手作り教室、他）を実施した。

【実績】 実施数 56 イベント 参加人数延べ 3,750人

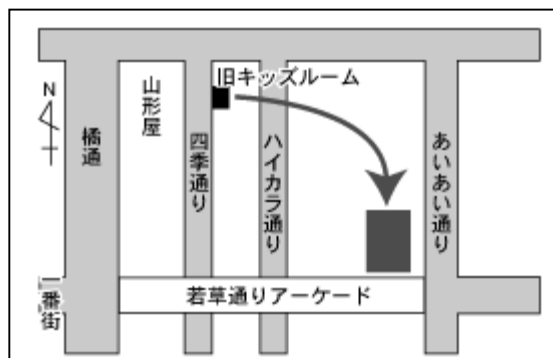
②「まちななかキッズルーム」

NPO 法人みやざき子ども文化センターに運営委託し、買い物客向けの一時預かりとドロップインを行う。

「一時預かり」は、0歳児から小学3年生までを対象に10:00～16:00の時間帯で1時間500円で子供を保育するサービスである。

「ドロップイン」とは、施設内で親子一緒に遊具を使って過ごすことを指し、無料で実施する。

なお、平成15年度は山形屋別館に設置していたが、山形屋の増改築工事に伴い平成16年6月から若草通りの空き店舗の2階に移転し、やや分かりづらい場所となってしまった。このため、平成16年度実績としては、15年度に比べてやや利用者数が減少した。



「まちななかキッズルームの移転場所」

	平成15年度			平成16年度		
	収入 (円)	一時預かり (人)	ドロップイン (人)	収入 (円)	一時預かり (人)	ドロップイン (人)
4月	/			167,500	229	79
5月				152,500	204	79
6月				114,500	148	64
7月	165,000	218	109	169,000	200	65
8月	165,000	199	107	129,500	152	64
9月	141,750	184	79	123,500	133	56
10月	187,000	236	38	155,000	158	67
11月	182,000	196	91	131,500	146	66
12月	199,500	241	81	147,500	175	62
1月	170,500	228	86	108,000	118	39
2月	168,500	192	64	101,000	106	65
3月	186,500	245	81	164,500	187	82
合計	1,565,750	1,939	736	1,664,000	1,956	788
平均	173,972	215	82	138,666	163	66

【実績】 一時預かり 1,956人、ドロップイン788人

「まちななかキッズルームの様子～入り口（左）、内部（中央、右）」



【 効 果 】

1. 来街者の行動

利用者アンケートでは、5回以上のリピーターが全利用者の45%を占め、「親が安心して子供を預けられる施設」として高評価を得ていることが分かった。また、自由記入欄に「専門の保育士がいて、子育ての相談ができてうれしい」、「他のお母さん達と仲良くなれる」などの意見が寄せられた。

商店街の来街回数の増加につながるるとともに、コミュニティ機能の点からも効果が得られている。

2. 近隣商店街への波及

親子手作り教室、コンサートなど子供を対象とした各種イベントを、キッズルームだけでなく、施設の周辺商店街で開催することにより、集客力を高めることができた。

3. その他

商店街の経営者に対するアンケートでは、「商店街に必要」が77%、「街の賑わいを創出している」65%と、中心市街地に必要な施設として評価されている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. PR

施設の場所が諸事情により移転しており、認知されるまで時間を要してしまっている。限られた予算の中で、いかに効率的に親子連れへPRしていくかが課題となる。

2. 事業費の確保

一時預かりの収入だけでは、人件費、家賃等の捻出は難しく、事業継続に向けて自主財源の確保が急務となる。

3. 事業の合意形成

事業実施に際しては、商店街の理解、支援が不可欠であり、来店客への事業紹介やイベント実施の手伝いなど、いかに協力・参加を促していくかが課題となる。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

子育て支援活動を通して、商店街のコミュニティ機能を再生しようとする本事業は、商

宮崎商工会議所

店街やNPOなどの市民団体が一体となって、継続的に実施していくことが重要と思われる。各商店街・商店のまちづくりに対する意識の高揚を図るとともに、市民団体が積極的に参加、活動できる実施体制づくりが必要だと感じている。

【 関 連 U R L 】

宮崎商工会議所 <http://www.miyazaki-cci.or.jp/miyazaki/>

NPO 法人みやざき子ども文化センター <http://www.kodomo-bunka.org/>